

第7回 静岡県道路技術審議会 会議録

日時	平成28年2月24日(水) 15:00~17:00
場所	静岡県庁 別館7階 第2会議室A, B
出席者 職・氏名	<p>会長 兵藤 哲朗 (東京海洋大学海洋工学部流通情報工学科教授)</p> <p>委員 青山 佳世 (フリーアナウンサー) 海野 俊也 ((株)静岡新聞社編集局次長兼政治部長兼論説委員) 小川 敏行 (静岡県警察本部交通部交通規制課長) 岸 昭雄 (静岡県立大学経営情報学部経営情報学科講師) 窪田 智樹 (一般社団法人静岡県トラック協会専務理事) 杉 雅俊 (一般社団法人静岡県商工会議所連合会専務理事兼事務局長) 杉山 涼子 (常葉大学社会環境学部教授) 高木 敦子 ((有)アムズ環境デザイン研究所代表取締役) 谷口 綾子 (筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授) 平野 洋一 (一般社団法人静岡県バス協会専務理事) 二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授) 前川 利聡 (国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長) 四方田 雅史 (静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科准教授)</p> <p>事務局 平野道路局長、戸塚道路企画課長、原道路整備課長 大石道路保全課長 他</p>
議題	<p>(1) ふじのくにの“みちづくり”中間評価について</p> <p>(2) その他(県の取組等の紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストック効果に関する静岡県の検討状況について ・道路施設の維持管理の取組について ・ラウンドアバウトについて
配付資料	<p>次第、委員名簿、座席表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 前回の審議会で頂いた主な意見と県の対応 ・資料2 ふじのくにの“みちづくり”中間評価 ・資料3 ふじのくにの“みちづくり”中間評価概要版 ・資料4-1 ストック効果に関する静岡県の検討状況について ・資料4-2 道路施設の維持管理の取組 ・資料4-3 ラウンドアバウトについて ・参考資料1 審議会の概要 ・参考資料2 ふじのくにの“みちづくり”概要版 ・参考資料3 平成27年度 静岡県の道路事業概要

(開会)

(兵藤会長挨拶)

それでは、議事に従って進めてまいります、
中間評価の前に資料1について事務局から説明をお願いします。

(1) 前回の審議会で頂いた主な意見と県の対応について [事務局から、資料1により説明]

(兵藤会長)

資料1のご説明をいただきましたが、ご質問いかがでしょうか。

(谷口委員)

二酸化炭素と運輸部門がどうしてつながらないというようなお話があったが、運輸部門の中にマイカーの基本ガス排出量も含まれていると認識している。民生部門にマイカーが入っていると思われがちだが、運輸部門の中にマイカーが入っているのでこれは特に問題ないと思う。

(兵藤会長)

私の記憶だと運輸部門＝トラック輸送であり、おっしゃる通り、運輸部門の中にマイカーが入るとい
う形になる。

(2) ふじのくにの“みちづくり”中間評価について [事務局から、資料2、3により説明]

(兵藤会長)

資料2のご説明をいただきましたが、ご質問いかがでしょうか。

(岸委員)

評価指標の数値目標について△の理由を明記してなぜ順調なのか示すべきではないか。

(事務局)

表には分析という項目を設けて理由を説明しておりますが、その内容を充実させるように致します。

(青山委員)

整備効果の検証で、住民の声と定量的効果の分析が分かれていると分かりづらい。概要版は数値が必要ではないか。

(事務局)

おっしゃる通りだと思いますので、そこはしっかり考えて作らせていただきます。

(平野委員)

通学路の安全点検で横断歩道を削ってカラー舗装にするメリットはあるのか。

(静岡県警)

歩行者溜りがなかったなので、カラー舗装にすることで注意喚起を図る。

(青山委員)

中間評価において満ち充ちミーティングで収集した住民の声をどのように反映、分析して反映するのか。

(事務局)

数字のチェックは平成26年度末で前年度の数値をもって行っていますが、満ち充ちミーティングは今年度の意見も反映している。1対1のお返しではなく、基礎情報として、住民の声を収集していきたいと思います。

(二村委員)

道路工事の情報が不足しているとの意見があったが、これに対しどのように対応していくか県の対応方針を伺う。

(事務局)

工事看板を分かりやすい情報にする等の取組を進めていきたいと思っている。

(谷口委員)

県民にどの資料をどのように公開するのか考えて資料を作るべきだと思う。概要版だけだと分かりにくい。例えば、13ページの横断歩道を削るのも横断歩道よりカラー舗装の方がなぜ良いのか、次のページの法面防災についてもぱっと見緑が多い方が良いように見えるので危険性についていままでこれだけ崩れたというデータが必要なのではと思います。

(事務局)

審議会の各回の資料はウェブ上で公開しております。中間評価について一目でわかる資料として概要版を作成しております。今回の中間評価とは別に道路整備の各取組状況をアップしておりますので、概要版から取組のページに飛ぶなどしたいと思います。

(杉山委員)

集計中の3項目を除いてとありますが、集計中の項目について推移の見込みがありましたら教えてください。

(事務局)

死傷事故の抑止率は数か年の平均となっております。渋滞削減率については民間のプロブデータを

購入して計算しております。CO₂排出量については県の環境部局が公表している数字を基準としており、3月に公開予定となっております。

(杉山委員)

死傷事故抑止率で55箇所の交通安全対策が完了とありますが、これで全部完了したということでしょうか。

(事務局)

要対策箇所は全部で80箇所あって、残り25か所となっている。

(高木委員)

みちづくり8の重点施策に各事業が張り付いていることが分かるようにした方が良いのではないかと。概要版の事例についても基本目標と対応していることが分かるようにした方が良いと思う。数値を出すのか、イメージで描くのか方針を決めてはどうか。主要事業の進捗状況で国と政令市の項目があるが、これに関しては書かなくても良いのではと思う。また、新居の写真が載っているが方向が違うので修正願いたい。

(兵藤委員)

枚数は特に決まりはないと思いますので適宜修正をお願いします。

(事務局)

分かりました。県の施策はおおむね順調に進んでいるということでしょうか。

(異議なし)

(兵藤会長)

異議なしとします。年度末の公表に向け適宜修正作業を進めて下さい。それでは、県からの情報提供ということで事務局より説明をお願いします。

(3) ストック効果について [事務局から、資料4-1により説明]

(4) 道路施設の維持管理の取組について [事務局から、資料4-2により説明]

(5) ラウンドアバウトについて [事務局から、資料4-3により説明]

(兵藤会長)

その他、特になければ、以上で第7回静岡県道路技術審議会の議事を終了する。

(閉会)